

# beyond2020プログラムについて



内閣官房東京オリンピック競技大会・  
東京パラリンピック競技大会推進本部事務局

# 文化プログラムの推進に向けた取組一覧

		文化を通じた機運醸成策に関する 関係府省庁等連絡・連携会議	大会組織委員会	
プログラム		beyond2020 プログラム	東京2020公認 文化オリンピックアード	東京2020応援 文化オリンピックアード
ロゴマーク				
説明		2020年以降を見据えレガシー創 出に資する文化プログラム	「オリンピック憲章」に基づいて行われる公式文化プログラム	
ポイント		営利・非営利団体を問わず幅広い 団体の事業・活動の申請が可能	東京大会の主なステークホルダー (スポンサー、会場関連自治体な ど)を中心に展開	東京大会のステークホルダー以外 の自治体や非営利団体を中心 に全国で広く展開
オリンピック・パラリン ピックの文言使用		※1	○	○
イ ベ ン ト ・ 事 業 実 施 主 体	スポンサー企業	○	○	
	国	○	○	
	開催都市 (東京都)	○	○	
	会場所在 地方自治体	○	○	
	上記以外 地方自治体	○		○
	非営利団体 (NPO、NGO等)	○		○
	ノンスポンサー 企業	○		

※1 : beyond2020プログラムの認証により、オリンピック・パラリンピックの文言使用が許諾されるものではありません。 1

# beyond2020プログラムについて

## ◆beyond2020プログラムの趣旨及び経緯

- 2020年は、文化プログラムを通じて日本の魅力を発信する絶好の機会。
- 2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラムを「beyond2020プログラム」として認証し、ロゴマークを付与することで、オールジャパンで統一感を持って日本全国へ展開する。
- 本年1月、ロゴマークを発表し、認証を開始。

## ◆認証事業のイメージ

- 日本文化の魅力を発信するとともに、共生社会、国際化に繋がるレガシーを創出。
- 公的機関のほか、民間事業者、任意団体等幅広い参画が可能。
- 日本全国津々浦々で実施される地域の祭り等も含め、多様な分野の事業を認証。

## ◆認証要件

### ●日本文化の魅力を発信する事業・活動

※日本文化とは、伝統的な芸術からクールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、和食などの食文化、祭りや伝統的工芸品など、多様なものを含む。

### ●多様性・国際性に配慮した、以下のいずれかを含んだ事業・活動

- ・ 障害者にとってのバリアを取り除く取組
- ・ 外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

## ◆ロゴマーク



ロゴマークのデザインは、「いいね」や「グッド」などの賛同のジェスチャーをモチーフ。

加えて、beyondの「b」や、日本を象徴する「わ」とも読み取れる。

日本の文化を共に継承し拡げていきたい、との願いを込めて、2020年を新たな発展へのステップとしてシンボライズしたロゴマーク。

# 申請の注意事項 —申請内容は—

## ◎申請内容について

このような内容が申請内容に含まれている必要があります。

**日本文化の魅力発信** + **障害者にとってのバリアを取り除く**  
又は  
**外国人にとっての言語の壁を取り除く**

- ・ 地域の祭りで、英語の案内チラシを作成 **OK!**  
**文化魅力発信 + 外国人対応**
- ・ 和太鼓公演で、車いす観覧用スペースを設ける **OK!**  
**文化魅力発信 + 障害者対応**
- ・ 食をテーマにしたフェスティバルで、手話通訳案内を置き、ホームページで英語・中国語・仏語でイベント情報を発信 **OK!**  
**文化魅力発信 + 障害者対応 外国人対応**

このような内容は、認証要件を満たす取組をあわせて実施することが必要です

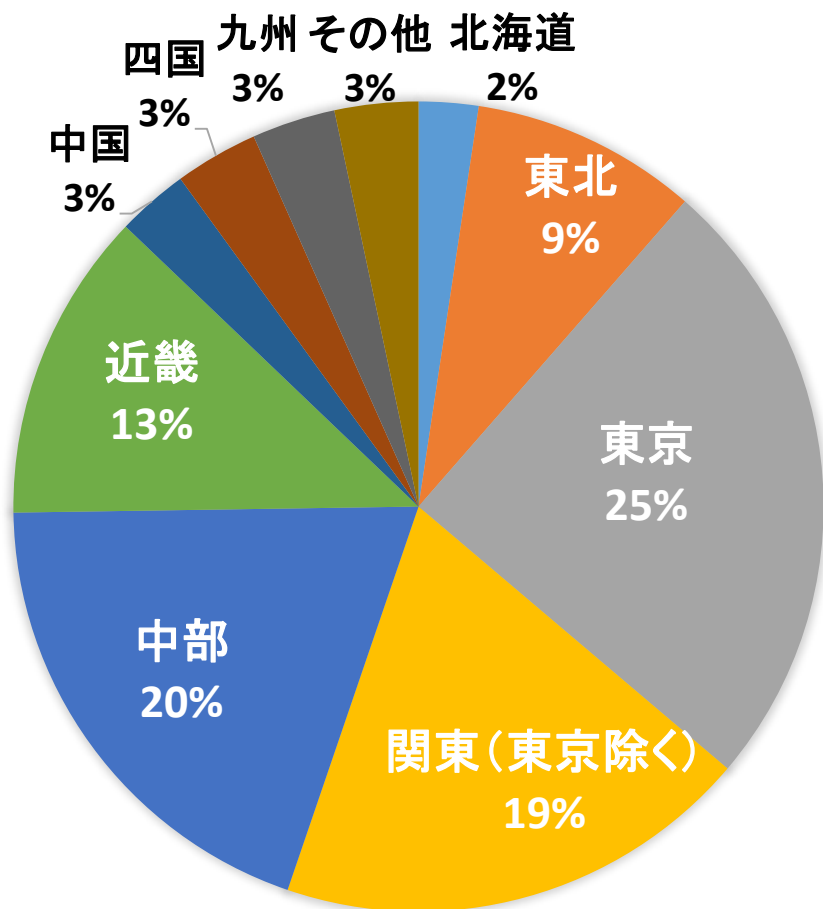
- ・ 障害者の参画するイベント ← 日本文化の魅力発信につながる取組が必要です
- ・ 美術館の企画展 ← 障害者が観覧しやすくなる取組や、外国語での案内などが必要です

# 認証状況(5月19日現在)

認証件数	210件			
開催地域別 認証件数	・北海道	5件	・近畿	26件
	・東北	19件	・中国	6件
	・東京	52件	・四国	7件
	・関東(東京除く)	40件	・九州	7件
	・中部	41件	・海外	4件
			・その他(インターネット等)	3件
団体分類別 認証件数	・国の機関	10件	・株式会社等	13件
	・地方公共団体	88件	・その他(実行委員会等)	53件
	・公益法人等	46件		
実施分野別 認証件数	・伝統芸能・まつり	38件	・演劇	9件
	・現代アート・メディア芸術	17件	・美術	9件
	・食文化	20件	・工芸	7件
	・障害者芸術	9件	・映画・写真	2件
	・音楽	35件	・その他	64件
主なイベント	<p>&lt;地域の祭り&gt; 鹿沼秋まつり(鹿沼秋まつり実行委員会)、神田祭(神田明神)</p> <p>&lt;大規模イベント&gt; ヨコハマトリエンナーレ(横浜トリエンナーレ組織委員会)、 埼玉まるごとアニメ祭～アニメ・マンガまつりin埼玉～(埼玉県)</p> <p>&lt;食文化PRキャンペーン&gt; 国酒PR推進事業(日本酒造組合中央会)</p> <p>&lt;ウェブでの実施事業&gt; 日学・黒板アート甲子園®(日学株式会社)</p>			

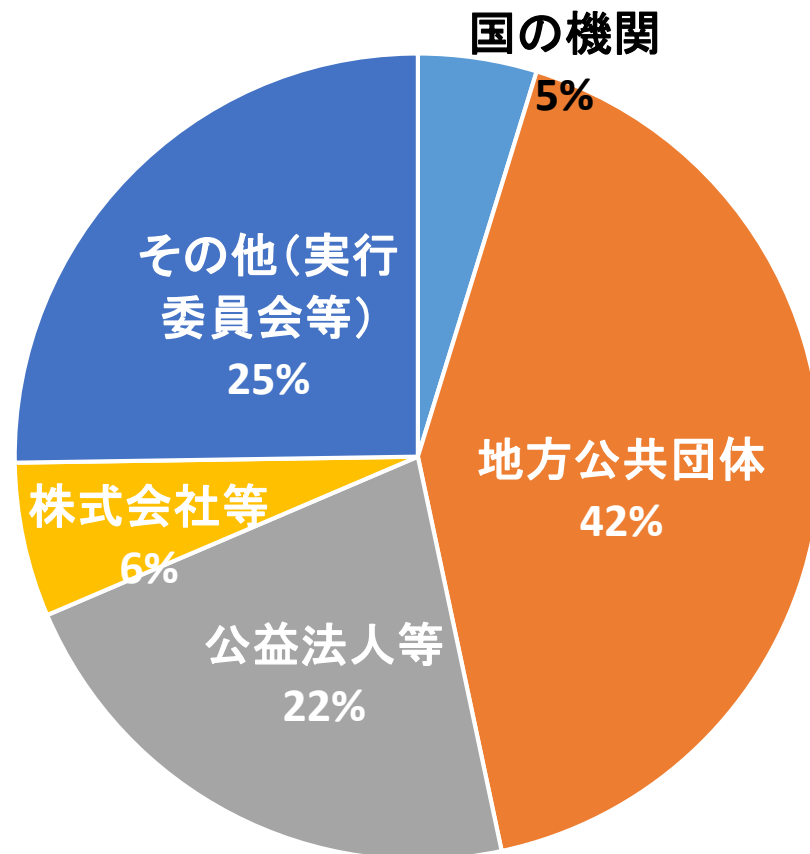
# 認証状況(5月19日現在)

## エリア別認証件数の割合



東京・関東を中心に、東日本で開催される事業が多い。また、開催事業が0件であるのは13県。

## 申請団体分類別認証件数



地方公共団体、公益法人等からの申請が多い。民間事業者が主体となる事業の申請を期待したい。

# beyond2020プログラムの認証事業例

ヨコハマトリエナーレ  
平成29年8月4日～11月5日

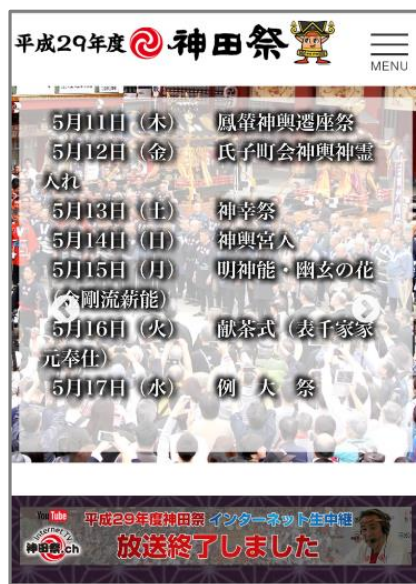


※チラシ

鹿沼秋まつり  
平成29年10月7日～8日



神田祭  
平成29年5月11日～17日



※公式サイト

※ポスター

# 認証組織の拡大について

## ◆認証組織になれる者（認証要領を作成し、認証事務を行うことができる者）

- (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議の構成員及びオブザーバーが属する組織
- (2) 都道府県及び政令市
- (3) 商工会議所

## ◆一部の組織で認証手続きを開始

- 平成29年5月26日から、一部組織で試験的に認証手続きを開始。
- 試験的に認証手続きを開始した組織の事例を参考に、「認証事務に係るマニュアル」及び「FAQ」を作成し、他の組織に展開。
- 本年夏頃を目途に、他の希望する組織においても認証手続きを開始。

## ◆参考（認証組織に関する意向調査）

- 平成29年2月、都道府県・政令指定都市に対し、認証組織に関する意向調査を実施。

【調査結果】 Q.認証組織になる意向があるか。

意向あり:39自治体、 検討中:23自治体、 意向なし:5自治体



# お問い合わせ先

## 【申請に関する問い合わせ先】

beyond2020プログラム事務局

(10:00～17:00／土日祝・12/29～1/3を除く)

TEL: 0570-022320

Email: [shinsei@beyond2020program.jp](mailto:shinsei@beyond2020program.jp)

URL: [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020\\_suishin\\_honbu/beyond2020/](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/beyond2020/)

## 【認証組織に関すること、その他問い合わせ先】

内閣官房 東京オリンピック競技大会・

東京パラリンピック競技大会推進本部事務局(林、富本)

TEL: 03-3581-0179 FAX: 03-3581-4355

Email: [beyond2020@cas.go.jp](mailto:beyond2020@cas.go.jp)